

第2次備蓄推進5箇年計画



令和2年3月

小山市

目次

1. はじめに	1
2. 基本的な考え方	2
2-1. 備蓄手法及び支援体制	2
2-2 公的備蓄物資支給対象者	3
2-3 公的備蓄品目	3
2-4 避難所避難者及び帰宅困難者への公的備蓄品目	6
2-5 備蓄計画	7
3. 公的備蓄物資の整備と管理	10
4. 市民備蓄の促進	11
4-1. 家庭内備蓄の促進	11
4-2. 企業・事業者等における備蓄	14
5. 流通在庫備蓄及び広域応援	15
6. 備蓄倉庫	18
6-1. 備蓄倉庫の機能・役割	18
6-2. 備蓄倉庫の区分	18
資料編 備蓄物資の状況	19
資料1 公的備蓄物資の備蓄状況	19
資料2 年次備蓄配備計画	21
資料3 公的備蓄品目標数の算出式	30
資料4 避難所等への公的備蓄物資数量の振分け	33

1. はじめに

今回、平成 27 年 3 月に計画策定してから 5 年が経過し、今年度末で計画期間が満了するにあたり、市における備蓄（以下「公的備蓄」という。）に係わる需要の変化や社会情勢の変化を踏まえて、被災時の市民生活を支える食料等、資機材や医薬品などの備蓄状況を明らかにし、計画的な整備を行うため、当該計画を改定するものである。

本計画については、本市が政府により首都直下地震対策特別措置法（平成 25 年法律第 88 号）に基づき「首都直下地震緊急対策区域」に指定され、栃木県の「災害に強いとちぎづくり条例」の施行による地域防災の方針が示されたことに伴い、安全安心な市民生活を支える食料・飲料水、資機材や医薬品等の備蓄状況を明らかにし、計画的な備蓄をおこなうため策定された。

前備蓄推進 5 箇年計画では、公的備蓄物資支給対象者について、「小山市地域防災計画（平成 24 年度策定版）」に基づき、想定小山市直下型地震における冬の夕刻 18 時の避難所避難者 45,000 人、及び、当時の JR 小山駅での夕刻 18 時における想定乗降者数の 5,150 人を帰宅困難者として想定した計画に基づき公的備蓄を行っていた。

しかしながら、栃木県が平成 25 年に作成した「栃木県地震被害想定調査」では、小山市直下型地震における被害予測の避難所避難者が 11,004 人、帰宅困難者が 20,819 人と想定されており、大きな乖離が見られた。「栃木県地震被害想定調査」は、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生以降の地震の活動性の変化や、地震に関する新たな知見、教訓や地震学等の進歩により、より詳細なデータや手法により被害想定したものであり、本計画の改定に伴い、公的備蓄物資の支給対象者数についても見直しを行い、同被害想定を追加訂正した「小山市地域防災計画（令和元年度版）」との整合性を図った。

また、東日本大震災等の過去の防災教訓を踏まえ、平成 28 年 4 月に発生した熊本地震では、発災当初において正確な情報把握に時間を要すること、民間供給能力が低下すること等から、被災地の要望を待たずして物資の調達・搬送する国のプッシュ型支援が導入され、当初対応として効果が得られていることが内閣府より報告されており、改定に伴い、被災者支援に係わる支援体制として取り入れることとした。

以上のことから、本計画の改定にあたっては、発災直後の 1 日目には、流通在庫備蓄や広域応援、国のプッシュ型支援を含む救援物資は望めないものとし、2 日目以降から流通在庫備蓄や広域応援、国のプッシュ型支援の救援物資により食料等を全量調達することを想定した。

また、新たな取り組みとして、避難所ごとの避難所避難者の人数は、その立地により利用数が大きくことなることが予測されることから、避難所ごとに想定される避難所避難者の人数のシミュレーションを行い、避難所ごとに必要な備蓄物資の適切な数量把握を行った。

最後に、本計画は、今後 5 年ごとに見直しの検討を行うこととし、新たな課題や強化していくべき課題が生じた場合などには、その都度検討を加え、必要に応じ計画の修正をしていくものとする。

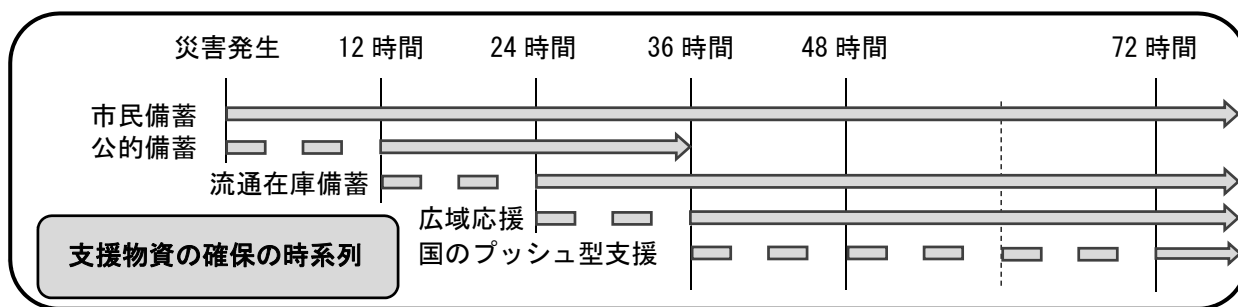
2. 基本的な考え方

2-1. 備蓄手法及び支援体制

基本的な考え方として、第一に「自らの身の安全は自らが守る」という「自助」が防災・減災の基本であり、市民備蓄においては、「最低3日分、推奨1週間」以上の、食料・飲料水、生活必需品等の備蓄を行うことを基本とし、これを推進する。また、「自らの地域はみんなで守る」という「共助」の立場から自治会等の単位として組織する自主防災組織に対しては設立時資機材の支給や活動補助金を交付し、適切な品目を備蓄するよう促す。

公的備蓄及び調達、自助・共助により賄われる「市民備蓄」を補完する目的で行われるものであるが、民間事業者及び他自治体と事前に協定を締結し、災害時に必要な物資（以下「流通在庫備蓄」及び「広域応援」という。）を速やかに調達できる体制を整えることとする。

以下、備蓄手法及び支援体制を定義し、小山市における備蓄のあり方を示す。



(1) 市民備蓄

各家庭や事業所等で最低3日分、推奨1週間以上の食料・飲料水、生活必需品等の備蓄を行うもの。発災直後から活用でき、各家庭のニーズに応じたものであることから、これを備蓄の基本とする。

(2) 公的備蓄

小山市において購入、備蓄し、発災から概ね12時間後から1日分を目途に提供するもの。

(3) 流通在庫備蓄

あらかじめ協定等を結んだ民間事業者等に対して、災害時に必要量の調達を依頼し、発災から概ね24時間後以降を目途に提供するもの。

(4) 広域応援

近隣都県等、他自治体に対して調達を要請し、発災から概ね36時間後以降を目途に提供するもの。

(5) 国のプッシュ型支援

国が被災府県から具体的な要請を待たないで、避難所避難者への支援を中心に必要不可欠と見込まれる物資を調達し、被災地に物資を緊急輸送するもので、発災から概ね72時間後以降を目途に提供するもの。（内閣府ホームページ及び令和元年版防災白書より）

2-2 公的備蓄物資支給対象者

公的備蓄物資の支給対象者は、災害の発生により、家屋の全壊、焼失のため、避難所で生活することを余儀なくされ、物資の確保が困難なもの（以下「避難所避難者」という。）及び市内主要駅（JR小山駅・JR間々田駅・JR思川駅）を中心に駅前滞留している者のうち、一時的に保護し帰宅を支援する必要がある者（以下「帰宅困難者」という。）を対象とする。

対象者数においては、栃木県が平成 25 年に作成した「栃木県地震被害想定調査結果」内の小山市直下型地震における被害予測で、避難所避難者の数及び帰宅困難者の数が最大となる冬の夕刻 18 時に発生した場合の以下の人数を想定する。

区分	被害	人数
避難所避難者	避難所生活	11,004 人
帰宅困難者	帰宅困難	20,819 人

2-3 公的備蓄品目

公的備蓄品目は、緊急性があり、「避難所避難者」が必要最低限の生活が送れるよう、災害発生から流通在庫備蓄や広域応援の支給物資が到達する発災から概ね 24 時間経過するまでの間、必要不可欠な食料・飲料水、生活必需品等を選定する。

また、「帰宅困難者」については、多くの駅周辺の滞留による混乱の解消と帰宅支援のための最低限の物資を迅速に支給するための備蓄品目を選定する。

(1) 食料・飲料水

① アルファ米（おにぎり型）

比較的日常生活の主食に近く、副食が不要であるとともに、長期保存が可能で、少量の水又はお湯だけで調理することができ、アレルギー特定原材料及び特定原材料に準ずる（以下「アレルギー特定原材料等」という。）27 品目を含まず、小分けの容器に包装され、箸を使用しないで食べることのできる「おにぎり型」のアルファ米を備蓄する。

② アルファ米（白粥）

高齢者や幼児用等向けに、アレルギー特定原材料等 27 品目を含まず、咀嚼しやすい、「白粥」のアルファ米を備蓄する。

③ 乳幼児用ミルク

乳幼児用として、災害時のライフラインの途絶による断水や賞味期限（消費期限）の長さに考慮し、粉ミルク（アレルギー対応）と液体ミルクの割合を 4 対 1 で備蓄する。

液体ミルクはアレルギー特定原材料等 1 品目（乳）以外の 26 品目を含まないものを備蓄するものとする。粉ミルク（アレルギー対応）についても、アレルギー性を著しく低減した良質の乳たんぱく質消化物とアミノ酸を配合したミルクアレルギー用のものを備蓄する。

④簡易食料（ライスクッキー）

発災当日の応急的な食事用として、アレルギー特定原材料等 27 品目を含まず、調理不要な簡易食料としてライスクッキーを備蓄する。

⑤飲料水

発災直後は、断水等が予測されることから、飲みやすく配布しやすい 500ml ペットボトルを飲料水として備蓄する。

<アレルギー情報一覧>

a. 特定原材料(7 品目)

品目			
えび	かに	小麦	そば
卵	乳	落花生	

b. 特定原材料に準ずるもの(20 品目)

品目			
あわび	いか	いくら	オレンジ
カシューナッツ	キウイフルーツ	牛肉	くるみ
ごま	さけ	さば	大豆
鶏肉	バナナ	豚肉	まつたけ
もも	やまいも	りんご	ゼラチン

(2) 生活必需品

生活必需品については、避難所生活を行う上で、生活開始当初から必要不可欠と考えられる次の物資を備蓄する。

品目	
毛布	歯ブラシセット
防寒シート	タオル
避難者用マット	紙おむつ(乳幼児用)
サージカルマスク	紙おむつ(大人用)
簡易トイレ(水洗・非水洗)	おしりふきナップ幼児用(80 枚/個)
簡易トイレ用詰め替え袋	生理用品
トイレットペーパー(60m/個)	使い捨て哺乳瓶
携帯トイレ	

(3) 資機材

資機材については、救出活動や避難所運営等、地域における応急対策活動に必要な次の資機材を備蓄する。

品目	
屋根付き間仕切り	暖房機
屋根なし間仕切り	扇風機
ブルーシート	カセットコンロ
エアマット	カセットガスボンベ
トイレ用テント	やかん
発電機	MCA無線機
バルーン投光器	トランジスタメガホン
ガソリン携行缶(20ℓ)	台車
ラジオ	ロープ(ハサミとセット)
コードリール	ゴミ袋

(4) 医薬品等

災害時における医療救護を迅速かつ適切に実施できるよう、医薬品を備蓄する。

● 医薬品等

品目		
鎮痛剤	胃腸薬	総合感冒薬
整腸薬	便秘薬	消毒薬
シップ薬	湿疹用軟膏	虫さされ薬
虫除けスプレー	経口補水液	瞬間冷却剤

● 衛生用品等、その他

品目		
三角巾(特大)	救急包帯	伸縮包帯(M/L)
消毒スプレー	眼帯セット	アルミック救急シート
ピノクール※1	救急絆	ウェットティッシュ
ポリ手袋	不織布マスク	防水ワンタッチパット(S/M/L)
滅菌カットガーゼ(S/M)	ウォータージェルボトル※2	サージカルテープ
救急はさみ	ピンセット	毛ぬき
電子体温計	止血棒	レサコR※3
副木(大/中/小)		

※1 ピノクールの用途は、患部等の冷却に使用

※2 ウォータージェルボトルの用途は、火傷の傷処理として使用

※3 レサコRの用途は、人工呼吸時の補助マスクとして使用

2-4 避難所避難者及び帰宅困難者への公的備蓄品目

前項で選定した公的備蓄品のうち、避難所避難者及び帰宅困難者個人へ支給する公的備蓄品目は以下の通りとする。

〈避難所避難者への公的備蓄物資の支給品目〉

避難所避難者		
食料・飲料水	アルファ米(おにぎり型)	年齢等区分：3歳～69歳
	アルファ米(白粥)	年齢等区分：1歳、2歳及び70歳以上
	粉ミルク(アレルギー対応)	年齢等区分：0歳 ミルクアレルギーの乳児にも対応可
	液体ミルク	年齢等区分：0歳
	簡易食料(ライスクッキー)	加水等が不要な食料、全ての避難所避難者
	飲料水	500mlのペットボトル、全ての避難所避難者
生活必需品	毛布	全ての避難所避難者
	サージカルマスク	全ての避難所避難者
	歯ブラシセット	全ての避難所避難者
	タオル	全ての避難所避難者
	紙おむつ(乳幼児用)	年齢等区分：0歳～3歳
	紙おむつ(大人用)	年齢等区分：災害時要支援者
	おしりふきナップ幼児用(80枚/袋)	年齢等区分：0歳～3歳
	生理用品	年齢等区分：10歳～55歳以下の女性
	使い捨て哺乳瓶	年齢等区分：0歳

〈帰宅困難者への公的備蓄物資の支給品目〉

帰宅困難者		
食料・飲料水	簡易食料(ライスクッキー)	避難所避難者と同様のもの、全ての帰宅困難者
	飲料水	避難所避難者と同様のもの、全ての帰宅困難者
生活必需品	防寒シート	全ての帰宅困難者
	サージカルマスク	避難所避難者と同様のもの、全ての帰宅困難者
	携帯トイレ	全ての帰宅困難者

2-5 備蓄計画

公的備蓄物資の目標数量は、小山市直下型地震で想定される公的備蓄物資支給対象者から、次のとおり年齢毎等の人口割合を基に定める。

公的備蓄物資以外の物資については、流通備蓄や広域応援の支給物資等により、必要量を確保するとともに、平常時から協定内容の確認や新規協定の締結ができるよう努める。

●目標数量算出に用いた人口割合

対象区分	年齢等区分	人口割合
避難所避難者	3歳～69歳	80.15%
	1歳、2歳及び70歳以上	19.09%
	0歳	0.76%
	0歳～3歳	3.17%
	10歳～55歳以下の女性	26.36%
	災害時要支援者（要介護3以上）	1.26%

※ 割合は、小山市年齢別人口統計（2019年8月1日現在）に基づき算定

※ 要介護認定者割合は、厚生労働省が公表している介護保険事業実況報告 月報（令和元年7月分）も含め算定

※ 割合は、小数点第2位まで表示

品目ごとの備蓄目標数（P21 資料2 年次備蓄配備計画に基づいて配備する）

(1) 食料・飲料水

No.	品目	対象区分	年齢等区分	対象数	1人当たり	目標数	目標合計数
1	アルファ米※1 (おにぎり型)	避難所避難者	3歳～69歳	8,821人	4袋(2食分)	35,284袋	35,284袋
2	アルファ米※2 (白粥)	避難所避難者	1歳、2歳及び70歳以上	2,101人	2袋(2食分)	4,202袋	4,202袋
3	粉ミルク※3 (アレルギー対応)	避難所避難者	0歳	56施設 (84人)	1缶※3 (4食分)	56缶	56缶
4	液体ミルク	避難所避難者	0歳	84人	1缶(1食分)	84缶	84缶
5	簡易食料※4 (ライスクッキー)	避難所避難者	全員	11,004人	1袋(1食分)	11,004袋	73,461袋
		帰宅困難者	全員	20,819人	3袋(3食分)	62,457袋	
6	飲料水(500ml)	避難所避難者	全員	11,004人	2本	22,008本	63,646本
		帰宅困難者	全員	20,819人	2本	41,638本	

※1 アルファ米（おにぎり型） 注水後の出来上がり量 1人1食当たり220g程度（おにぎり2個）とし、1食当たり2袋とする

※2 アルファ米（白粥） 注水後の出来上がり量 1人1食当たり245g程度（茶碗1杯分）とし、1食当たり1袋とする

※3 粉ミルク（アレルギー対応） 1食200mlの調乳量27gとし、1日4食として算定した場合、対象84人の備蓄目標が約12缶（1缶あたり800g）となり、指定避難所の総数を下回る為、指定避難所毎に1缶ずつ備蓄するものとする

※4 簡易食料（ライスクッキー） 1人1食当たり48g（1袋）とする

(2) 生活必需品

No.	品目	対象区分	年齢等区分	対象数	1人当たり	目標数	目標合計数
1	毛布	避難所避難者	全員	11,004人	1枚	11,004枚	11,004枚
2	防寒シート	帰宅困難者	全員	20,819人	1枚	20,819枚	20,819枚
3	避難者用マット	避難所	-	56施設	10枚※1	560枚	560枚
4	サージカルマスク	避難所避難者	全員	11,004人	1枚	11,004枚	31,823枚
		帰宅困難者	全員	20,819人	1枚	20,819枚	
5	簡易トイレ (水洗・非水洗)	避難所避難者	全員(一部除く)	10,516人※2	0.05基※3	526基	526基
6	簡易トイレ用 詰め替え袋	避難所避難者	全員(一部除く)	10,516人※2	5袋※3	52,580袋	52,580袋
7	トイレトーパー (60m/個)	避難所避難者	全員	11,004人	8m/60個	1,468個	1,468個
8	携帯トイレ	帰宅困難者	全員	20,819人	1個	20,819個	20,819個
9	歯ブラシセット	避難所避難者	全員	11,004人	1組	11,004組	11,004組
10	タオル	避難所避難者	全員	11,004人	1枚	11,004枚	11,004枚
11	紙おむつ(乳幼児用)	避難所避難者	0歳～3歳	350人	8枚	2,800枚	2,800枚
12	紙おむつ(大人用)	避難所避難者	災害時要支援者	140人	6枚	840枚	840枚
13	おしりふきナップ 幼児用(80枚/個)	避難所避難者	0歳～3歳	350人	1箱	350箱	350箱
14	生理用品	避難所避難者	10歳～55歳 以下の女性	726人※4	8枚	5,808枚	5,808枚
15	使い捨て哺乳瓶	避難所避難者	0歳	84人	5本	420本	420本

※1 避難者用マットは、避難所1施設につきの枚数

※2 0歳～3歳及び災害時要支援者を除いた人数

※3 避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン(平成28年4月内閣府)より避難が長期化した場合の目安である避難者20人当たり1基、トイレの使用回数を1人1日5回とした

※4 1ヶ月(4週間)のうちの災害発生時の対象者は1週間内での該当者であるものとし、25%で算出

(3) 資機材

No.	品目	対象区分	年齢等区分	対象数	対象あたり	目標数	目標合計数
1	屋根付き間仕切り	避難所	-	56 施設	1 張	56 張	56 張
2	屋根なし間仕切り	避難所	-	56 施設	10 張	560 張	560 張
3	ブルーシート	避難所	-	56 施設	40 枚	2,240 枚	2,240 枚
4	エアマット	避難所避難者	災害時要支援者	140 人	1 台※1	140 台	140 台
5	トイレ用テント	避難所避難者	全員(一部除く)	10,516 人※2	0.05 張※3	526 張	526 張
6	発電機	避難所	-	56 施設	1 台	56 台	56 台
7	バルーン型照明器	避難所	-	56 施設	1 台	56 台	56 台
8	ガソリン携行缶(20ℓ)	避難所	-	56 施設	1 缶	56 缶	56 缶
9	ラジオ	避難所	-	56 施設	1 台	56 台	56 台
10	コードリール	避難所	-	56 施設	1 台	56 台	56 台
11	暖房機	避難所	-	56 施設	2 台	112 台	112 台
12	扇風機	避難所	-	56 施設	1 台	56 台	56 台
13	カセットコンロ	避難所	-	56 施設	1 台	56 台	56 台
14	カセットガスボンベ	避難所	-	56 施設	3 本	168 本	168 本
15	やかん	避難所	-	56 施設	1 個	56 個	56 個
16	MCA無線機	避難所	-	56 施設	1 基	56 台	56 基
17	トランジスタメガホン	避難所	-	56 施設	1 台	56 台	56 台
18	台車	避難所	-	56 施設	1 台	56 台	56 台
19	ロープ(ハサミとセット)	避難所	-	56 施設	3 巻	168 巻	168 巻
20	ゴミ袋	避難所	-	56 施設	100 袋	5,600 袋	5,600 袋

※1 エアマットについては、1人あたり1台

※2 0歳～3歳及び災害時要支援者を除いた人数

※3 避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン(平成28年4月内閣府)より避難が長期化した場合の目安である避難者20人当たり1基に対してのテントの数とした

(4) 医薬品

No.	品目	対象区分	年齢等区分	対象数	対象あたり	目標数	目標合計数
1	医薬品等	避難所	-	56 施設	1 組	56 組	56 組
2	衛生用品、その他	避難所	-	56 施設	1 組	56 組	56 組

3. 公的備蓄物資の整備と管理

(1) 食料・飲料水

アルファ米（おにぎり型・白粥）及び簡易食料（ライスクッキー）については、長期保存ができるものを基本とし、5年以上の賞味期限を有するものを備蓄する。

また、乳幼児用ミルクについては、粉ミルク（アレルギー対応）は18ヶ月間の賞味期限を有するものを、液体ミルクは1年間の賞味期限を有するものを毎年度、計画的に備蓄する。

飲料水についても長期保存ができるものを基本とし、10年以上の賞味期限を有するものを備蓄する。

なお、賞味期限が1年を切った食料・飲料水については、市で開催するイベントなどでも活用、総合防災訓練、水防訓練などの各種訓練や自主防災組織等が行う各種啓発講座での防災啓発物としての提供のほか、小・中学校における防災給食など、防災意識の高揚を図る事業に提供することで有効活用を図るものとする。

(2) 生活必需品

毛布については、充足していない分について、真空パック梱包で長期保存できるものを購入するとともに、購入から10年以上経過したものについては、毎年度、定量ずつリパック（洗浄及び再梱包処理）を行う。

紙おむつ（乳幼児用・大人用）や生理用品、トイレットペーパーについては、不足が生じた場合に、汎用性の高いものを購入する。

哺乳瓶については3年間の品質保持期限を有するものを、毎年度、計画的に購入する。公的保育所等で使用しているものの保管状況を調査し、備蓄について調整する。なお、品質保持期限が1年を切った哺乳瓶については、有効活用を図る。

(3) 資機材

災害時要支援者用のベッドについては、充足していない分を長期保管や保管スペースを必要としないエアマットを計画的に購入する。

避難所機能を強化するため、バルーン型照明器を配置し、太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用についても検討を進める。

(4) 医薬品

医薬品については、救護所の設置を考慮し、各救護所への配備も含めて計画的に整備を進める。

4. 市民備蓄の促進

4-1. 家庭内備蓄の促進

ひとたび東日本大震災のような災害が起きると、ライフラインが停止し、飲料水や食料、生活必需品、トイレ等に関する市民の日常生活に支障が生じる。

このため前述のとおり、「自らの身の安全は自ら守る」という防災の基本に基づき、市民には、日頃から飲料水や食料品、生活必需品や簡易トイレ等の備蓄について、講演会や広報誌、インターネット等各種媒体を通して啓発を行い促進する。

家庭内備蓄については、災害用の飲料水や食料品等を購入しなくても、普段から購入しているペットボトル飲料水や食料品等を賞味期限前に計画的に使用し、同様のものを新たに買い足す（ローリングストック法）で、3日分以上の備蓄を行うことが可能である。

また、非常持出品として持てる量をリュックサックに入れておくことや、物置や車の中、駐車場等の屋外に備蓄品を置くことで、家屋被害にあった場合でもすぐに持ち出すことができるなど、具体的な備蓄や保管方法等について啓発する必要がある。

(1) 食料・飲料水

①備蓄のポイント

身の周りにあり、すぐに食べられるものが家庭内備蓄になりうる。備蓄を行う際には、次のポイントに留意すると効果的である。

- ア) 日頃から使用でき、長期間保存可能な食品を買い置きし、賞味期限をチェックしながら日常生活で利用し、同様のものを新たに買い足すことで常に備蓄があるようにしておく
- イ) そのまま食べられるか、水又はお湯を足す程度の簡単な調理できる食品である
- ウ) 持ち運びが簡単なもの
- エ) 必要最低限のエネルギーや栄養素が確保できるもの
- オ) 家族の状況（乳幼児、高齢者、アレルギー、糖尿病や肝臓病等の慢性疾患）に考慮した食料品であること

②備蓄の具体例

災害発生後、避難所に避難することとなった場合、当面は提供される物資を選ぶことが困難になる。栄養バランスや好み、家族の状況（乳幼児、高齢者、アレルギー、糖尿病や肝臓病等の慢性疾患）を考慮した上で、備蓄を行う。また飲料水についても1人1日3ℓを目安に備蓄を行う。

●具体例

分類	水やお湯を要するもの	水やお湯を要しないもの
主食	<ul style="list-style-type: none"> ・レトルト御飯(白米、白粥等) ・粉類(小麦粉、ホットケーキミックス) ・アルファ米(白米、白粥等) ・無洗米 ・個包装もち ・即席麺 ・乾麺(うどん、そば等) ・マカロニ ・スパゲッティ ・ビーフン 	<ul style="list-style-type: none"> ・乾パン ・ビスケット ・せんべい ・クラッカー ・シリアル類 ・パン ・冷凍麺 ・冷凍おにぎり
主菜	<ul style="list-style-type: none"> ・高野豆腐 	<ul style="list-style-type: none"> ・魚、肉缶詰(味付け、水煮) ・レトルト肉料理 ・カレー、シチュー等(缶、レトルト)
副菜	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーズドライ食品(野菜・豆類) ・インスタント味噌汁、スープ類 ・乾物類(切干大根、乾燥わかめ、かんぴょう、昆布、干し椎茸、寒天、春雨、干し海老、煮干し) 	<ul style="list-style-type: none"> ・梅干し ・漬物 ・らっきょう ・干し芋 ・乾物類(海苔、削り節) ・サラダ缶詰 ・野菜類煮物缶詰 ・チーズ
調味料	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーズドライ食品(味噌、醤油) ・コンソメ 	<ul style="list-style-type: none"> ・味噌 ・塩 ・ソース ・胡椒 ・ごま ・マヨネーズ ・めんつゆ ・ケチャップ ・醤油 ・砂糖
嗜好品	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーバッグ(紅茶、お茶など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりかけ ・羊羹 ・飴 ・果物缶詰 ・チョコレート ・スナック菓子
飲料		<ul style="list-style-type: none"> ・水 ・スポーツドリンク ・お茶類 ・野菜ジュース類 ・スープ缶 ・ロングライフ牛乳 ・ジュース類 ・スキムミルク
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・粉ミルク(アレルギー対応) ・離乳食 ・介護食 	<ul style="list-style-type: none"> ・液体ミルク

※ 水やお湯を要する食料品等については、飲料水やカセットコンロ、カセットガスボンベ(燃料)も備蓄する必要がある

(2) 生活必需品

生活を行う上で必要と考えられる物資については、平常時から使用している者を活用するとともに、すぐに持ち出せるよう保管場所等についても考慮する。また、近年の普及により災害時の情報収集や照明等にも役立つスマートフォン等の携帯電話用に、携帯バッテリーの活用も考慮する。

●具体例

衣類	・ 上着	・ 下着	・ 靴下
寝具	・ 毛布	・ 布団	・ 寝袋
消耗品	・ 紙おむつ ・ 使い捨て食器類 ・ ラップ	・ 生理用品 ・ アルミ箔 ・ ゴミ袋	・ トイレトペーパー ・ ティッシュペーパー ・ ウェットティッシュ
生活用品	・ 哺乳瓶	・ タオル類	・ 洗面用具 ・ カセットコンロ
照明器具	・ 懐中電灯	・ ランタン	・ ローソク
燃料類	・ 乾電池	・ カセットガスボンベ	・ 携帯バッテリー
その他	・ 使い捨てカイロ	・ 携帯ラジオ	

(3) 災害用トイレ

上下水道施設の建物被害や管路被害、停電等により、断水が生じた場合、トイレの使用が困難な状況になることが見込まれる。

そのような事態に備え、災害用の簡易トイレの備蓄を行う。

●具体例

トイレ等	・ 携帯トイレ	・ 折畳み式トイレ	・ ダンボール型組立式トイレ
	・ 汚物処理袋	・ 猫の科学砂	・ 消臭剤 ・ 凝固剤

(4) 医療品等

家庭にある常備薬や救急医療品、三角巾やガーゼ等について、平常時から確認を行う。

また、服用している薬やお薬手帳などの健康維持に必要なものについては、平常時から管理し、すぐに持ち出せるような保管方法等の検討を行う。

4-2. 企業・事業者等における備蓄

企業、事業所等は、災害時に果たす役割（従業員や顧客等の安全確保、二次災害の防止、事業の継続、地域への貢献や地域との共生）を十分に認識し、災害時において被害を最小限に食い止め、事業所内の従業員及び利用者等の安全を確保するため、平常時から、災害時において重要業務を継続するための事業継続計画（BCP）を策定するよう努めるとともに、防災体制の整備、防災訓練の実施、非常用食料の備蓄、事業所の耐震化等防災活動の推進に努める。また、地域社会の一員として、行政や地域の行う防災活動に協力できる体制を整える。

このため、事業継続に必要な分として、2～3日間の物資等の備蓄を行うよう努める。

(1) 企業・事業所等が用意するもの

食料・飲料水	・2～3日分				
資機材等	・医薬品	・携帯トイレ	・毛布	・防水シート	・テント
	・ラジオ	・乾電池	・ヘルメット	・軍手	・長靴
	・自転車	・自家発電機	・燃料(自家発電機のための燃料)		
	・衛生用品(トイレトーパー等)		・その他必要なもの		

※ 保管場所は、取り出すときの容易さ、耐震性、分散化を考慮する

※ 食料、飲料水、乾電池、自家発電機等は、定期的な点検・更新を行う

(2) 従業員（個人）が用意するもの

服装	・リュックサック	・防寒着	・雨具	・手袋	・歩きやすい靴
携帯品	・地図	・懐中電灯	・携帯ラジオ	・携帯食料	・飲料水
その他	・小銭	・ビニール袋	・ウェットティッシュ	・使い捨てカイロ	

5. 流通在庫備蓄及び広域応援

本市では、民間事業者及び他自治体とあらかじめ協定等を締結し、災害時に必要な物資を調達する「流通在庫備蓄」及び「広域応援」の仕組みを整えている。

現在、「流通在庫備蓄及び広域応援に関する協定締結一覧」のとおり、市内業者や全国展開している企業と物資（食料・生活必需品）及び資機材等に関する協定を締結しているが、今後についても、より一層、流通在庫備蓄及び広域応援の体制を強化していく。

また、市の備蓄を補完する物資として、流通在庫備蓄及び広域応援の確保を図るために、これまで締結している協定内容を検討し、実効性のある円滑な供給体制の確保に努める。

(1) 広域応援に関する協定締結一覧（自治体）

協定名	締結先	締結年月日
災害時における市町村相互応援に関する協定	県内市町村	平成 8 年 7 月 30 日
災害時における相互応援に関する要綱	北関東・新潟地域連携軸推進協議会	平成 8 年 10 月 14 日
災害時における小山市と葛飾区との相互応援に関する協定	東京都葛飾区	平成 8 年 11 月 13 日
災害時における相互応援に関する協定	茨城県結城市	平成 22 年 3 月 29 日
小山市と大崎市との災害時相互応援協定	宮城県大崎市	平成 23 年 11 月 3 日
災害時相互応援協定	兵庫県西宮市、静岡県富士宮市、福井県あわら市、富山県南砺市	平成 26 年 10 月 26 日
小山市と富岡市との災害時における相互応援に関する協定	群馬県富岡市	平成 26 年 10 月 26 日
大規模災害時における相互応援に関する協定	東京都世田谷区	平成 26 年 10 月 26 日
災害時における相互応援に関する協定	兵庫県豊岡市	平成 28 年 3 月 1 日
災害時相互応援に関する協定	茨城県日立市、埼玉県新座市、愛知県豊川市、愛知県西尾市	平成 28 年 3 月 18 日
	東京都東村山市(平成 30 年 6 月 1 日加入)	平成 30 年 6 月 1 日
	愛知県安城市(平成 30 年 11 月 1 日加入)	平成 30 年 11 月 1 日
災害時の相互協力に関する協定	農林水産省関東農政局栃木南部農業水利事業所	平成 29 年 3 月 14 日
災害時における相互応援に関する協定	茨城県笠間市	平成 29 年 3 月 22 日
災害時広域支援連携協定	茨城県結城市、栃木県栃木市、栃木県下野市、栃木県野木町	平成 29 年 7 月 7 日
災害時における相互応援に関する協定 (関東どまんなか)	茨城県古河市、栃木県栃木市、埼玉県加須市、栃木県野木町、群馬県板倉町	平成 29 年 10 月 16 日
災害時における相互応援に関する協定	埼玉県鴻巣市	平成 31 年 1 月 21 日

(2) 流通在庫備蓄に関する協定締結一覧(民間企業)

協定内容	締結先	締結年月日
緊急輸送	栃木県トラック協会小山支部	平成 28 年 9 月 30 日 (再締結)
資機材	小山郵便局	平成 28 年 12 月 21 日 (包括連携協定)
	株式会社レンタルのニッケン小山営業所	平成 20 年 1 月 30 日
	社団法人全国霊柩自動車協会	平成 21 年 1 月 23 日
	レンゴー株式会社小山工場	平成 27 年 3 月 7 日
	富士通株式会社小山工場	平成 29 年 1 月 26 日
資機材 人員提供	小山建設業協同組合	平成 18 年 12 月 11 日
	小山市管工事業協同組合	平成 18 年 12 月 11 日
	小山市電気設備業協会	平成 18 年 12 月 11 日
	小山市造園建設業協会	平成 18 年 12 月 11 日
	警察署、県内消防機関	平成 24 年 10 月 29 日
	北関東総合警備保障株式会社	平成 28 年 9 月 2 日
	昭和電工株式会社小山事業所	平成 29 年 1 月 26 日
	小平産業株式会社	平成 29 年 1 月 26 日
	古河産機システムズ株式会社小山工場	平成 29 年 1 月 26 日
	佐川急便株式会社北関東支店	平成 30 年 1 月 18 日
飲料水	利根コカ・コーラボトリング株式会社	平成 21 年 11 月 12 日
	サントリーフーズ株式会社、関東フーズサービス株式会社	平成 22 年 12 月 16 日
	株式会社伊藤園	令和 2 年 2 月 3 日 (包括連携協定)
	両毛ヤクルト販売株式会社	平成 25 年 1 月 22 日
生活用水 資機材 人員提供	東京鋼鉄株式会社	平成 29 年 1 月 26 日
	東京鉄鋼株式会社本社工場	平成 29 年 1 月 26 日
	株式会社小松製作所小山工場	平成 29 年 1 月 26 日
	株式会社巴コーポレーション小山工場	平成 29 年 1 月 26 日
	文化シャッター株式会社小山工場	平成 29 年 1 月 26 日
	株式会社 UACJ 押出加工小山	平成 29 年 1 月 26 日
	栃木県南部生コンクリート共同組合	平成 30 年 1 月 18 日
生活用水 避難所等提供	株式会社東光高岳	平成 25 年 8 月 9 日

協定内容	締結先	締結年月日
食料・飲料水 生活必需品	とちぎコープ生活協同組合 とちぎよつ葉生活協同組合	平成 19 年 11 月 21 日
	ジャパンソルト株式会社	平成 25 年 12 月 12 日
食料・飲料水 生活必需品 資機材	NPO 法人コメリ災害対策センター	平成 28 年 2 月 3 日
	株式会社カインズ	平成 28 年 11 月 15 日
	株式会社ベイシア	平成 28 年 12 月 8 日
食料・飲料水 生活必需品 資機材 人員提供	イオン株式会社ジャスコ小山店 (現 イオンリテール株式会社 イオン小山店)	平成 18 年 7 月 12 日
生活必需品	株式会社坪野谷紙業	平成 31 年 3 月 1 日
情報発信	株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送	平成 27 年 3 月 7 日
	テレビ小山放送株式会社	平成 27 年 3 月 7 日
人員提供 避難所等提供	学校法人白鷗大学	平成 27 年 3 月 7 日
避難所等提供	荒井商事株式会社	令和 元年 9 月 24 日

(3) 流通在庫備蓄及び広域応援の物資集積所

集積所等の名称	執務室	配送避難所
	休憩室	
栃木県立県南体育館	メインアリーナ	小山第一小、小山第二小、小山第三小、若木小、小山中、小山第二中、 小山高校、小山市立文化センター、栃木県立温水プール館
	会議室	
道の駅思川	大研修室	穂積小、中小、豊田南小、豊田北小、美田中、豊田中、小山西高校、 白鷗大学大行寺キャンパス
	研修室 5(和室)	
桑市民交流センター	多目的室 3、会議室	羽川小、羽川西小、萱橋小、桑中、絹義務教育学校、小山北桜高校
	和室 1	
小山東出張所	1 階会議室	小山城東小、小山城北小、大谷北小、小山第三中、勤労青少年ホーム 小山工業高等専門学校、白鷗大学本キャンパス
	和室 4	
小山城南市民交流センター	多目的ホール	小山城南小、旭小、東城南小、小山城南中、小山城南高校
	和室	
間々田市民交流センター	多目的ホール	間々田小、乙女小、網戸小、下生井小、寒川小、間々田中、 乙女中、小山南高校
	和室	
大谷出張所	第 1 研修室	大谷東小、大谷南小、間々田東小、大谷中、 関東職業能力開発大学校
	第 2 研修室	

※ これ以外にも集積所を設置する可能性がある

6. 備蓄倉庫

6-1. 備蓄倉庫の機能・役割

阪神・淡路大震災の教訓を活かし、迅速な物資供給を図るため、食料・飲料水、生活必需品、資機材等の公的備蓄物資を分散して指定避難所に備蓄することとした。

しかしながら、東日本大震災では、地震や津波の影響により、道路の寸断避難所間における物資の融通が行えなかったことなどにより、避難所間において、物資の品目や数量に差異が生じていた。

こうしたことから、災害発生直後から必要な公的備蓄物資については、あらかじめ各避難所に備蓄することとし、市内小中学校・義務教育学校等の指定避難所に備蓄倉庫を整備していくものとする。

6-2. 備蓄倉庫の区分

(1) 分散備蓄倉庫

分散備蓄倉庫とは、災害時、公的備蓄物資支給対象者に対し、すみやかに必要な物資が交付できるよう、市内小中学校・義務教育学校等の指定避難所に整備する独立型の倉庫を示す。

分散備蓄倉庫に備蓄する公的備蓄物資については、原則として、同一品目を備蓄するものとする。

ただし、分散備蓄倉庫が未整備の指定避難所については、整備するまでの間、校舎内や体育館の空スペースを活用し、緊急性が特に高い、トイレ及び毛布を備蓄する。

(2) 集中備蓄倉庫

集中備蓄倉庫とは、備蓄倉庫が未整備の避難所に対応するとともに避難者の多い避難所へ物資の補充を図るため、公的備蓄物資を備蓄する倉庫。また、救援物資等の一次保管場所として使用する倉庫を示す。

原則として、分散備蓄倉庫と同じ品目を備蓄するものとする。

資料編 備蓄物資の状況

資料1 公的備蓄物資の備蓄状況

(令和2年3月現在)

	品目	対象数	目標備蓄数	備蓄数量	過不足
食料・飲料水	アルファ米(おにぎり型)	8,821人	35,284袋	32,084袋	-3,200袋
	アルファ米(白粥)	2,101人	4,202袋	5,600袋	1,398袋
	粉ミルク(アレルギー対応)	56施設(84人)	56缶	100缶	44缶
	液体ミルク	84人	84缶	120缶	36缶
	簡易食料(ライスクッキー)	31,823人	73,461袋	5,904袋	-67,557袋
	飲料水(500ml)	31,823人	63,646本	67,296本	3,650本
生活必需品	毛布	11,004人	11,004枚	4,687枚	-6,317枚
	防寒シート	20,819人	20,819枚	52枚	-20,767枚
	避難者用マット	56施設	560枚	224枚	-336枚
	サージカルマスク	31,823人	31,823枚	1,000枚	-30,823枚
	簡易トイレ(水洗)	10,516人	526基	471基	35基
	簡易トイレ(非水洗)			90基	
	簡易トイレ(水洗)詰め替え袋	10,516人	52,580袋	44,400袋	-3,580袋
	簡易トイレ(非水洗)詰め替え袋			4,600袋	
	トイレトペーパー	11,004人	1,468個	0個	-1,468個
	携帯トイレ	20,819人	20,819個	0個	-20,819個
	歯ブラシセット	11,004人	11,004組	7,956組	-3,048組
	タオル	11,004人	11,004枚	5,800枚	-5,204枚
	紙おむつ(乳幼児用)	350人	2,800枚	14,336枚	11,536枚
	紙おむつ(大人用)	140人	840枚	3,072枚	2,232枚
	おしりふきナップ幼児用	350人	350箱	280箱	-70箱
	生理用品	726人	5,808枚	50,954枚	45,146枚
使い捨て哺乳瓶	84人	420本	2,000本	1,580本	
資機材	屋根付き間仕切り	56施設	56張	24張	-32張
	屋根なし間仕切り	56施設	560張	372張	-188張
	ブルーシート	56施設	2240枚	260枚	-1,980枚
	エアマット	140人	140台	0台	-140台
	トイレ用テント	10,516人	526基	68張	-458張
	発電機	56施設	56台	70台	14台
	バルーン型照明器	56施設	56台	22台	-34台
	ガソリン携行缶(20ℓ)	56施設	56缶	1缶	-55缶
	ラジオ	56施設	56台	0台	-56台
	コードリール	56施設	56台	1台	-55台
	暖房機	56施設	112台	33台	-79台

	品目	対象数	目標備蓄数	備蓄数量	過不足
資 機 材	扇風機	56 施設	56 台	39 台	-17 台
	カセットガスコンロ	56 施設	56 台	6 台	-50 台
	カセットガスボンベ	56 施設	168 本	18 本	-150 本
	やかん	56 施設	56 個	0 個	-56 個
	MCA無線機	56 施設	56 基	99 基	43 基
	トランジスタメガホン	56 施設	56 台	0 台	-56 台
	台車	56 施設	56 台	0 台	-56 台
	ロープ(ハサミとセット)	56 施設	168 巻	0 巻	-168 巻
	ゴミ袋	56 施設	5,600 袋	0 袋	-5,600 袋
医 薬 品	医薬品	56 施設	56 組	0 組	-56 組
	衛生用品、その他	56 施設	56 組	0 組	-56 組

資料 2 年次備蓄配備計画

(1) 食料・飲料水

アルファ米(おにぎり型) 目標数：35,284 袋	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	32,084	39,184	46,184	53,284	53,000
購入数	7,100	7,000	7,100	7,000	7,100
廃棄数	0	0	0	-7,284	-24,800
配備数(購入後)	39,184	46,184	53,284	53,000	35,300
過不足(配備数－目標数)	3,900	10,900	18,000	17,716	16

アルファ米(白粥) 目標数：4,202 袋	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	5,600	6,450	7,300	8,150	7,100
購入数(ケース数)	850	850	850	850	850
廃棄数	0	0	0	-1,900	-3,700
配備数(購入後)	6,450	7,300	8,150	7,100	4,250
過不足(配備数－目標数)	2,248	3,098	3,948	2,898	48

粉ミルク(アレルギー対応) 目標数：56 缶	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	100	76	56	36	36
購入数	56	56	56	56	56
廃棄数	-80	-76	-56	-56	-56
配備数(購入後)	76	56	56	56	56
過不足(配備数－目標数)	20	0	0	0	0

※ 粉ミルク(アレルギー対応)の賞味期限は製造されてから 18 ヶ月である為、購入時に既に数ヶ月経過していることを考慮し、12 ヶ月毎に入れ替えを行う

液体ミルク 目標数：84 缶	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	120	84	84	84	84
購入数	168	168	168	168	168
廃棄数	-204	-168	-168	-168	-168
配備数(購入後)	84	84	84	84	84
過不足(配備数－目標数)	0	0	0	0	0

※ 液体ミルクの賞味期限は製造されてから 1 年である為、購入時に既に数ヶ月経過していることを考慮し、6 ヶ月毎に入れ替えを行う

簡易食料(ライスクッキー) 目標数：73,461 袋	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	5,904	20,832	35,472	50,112	63,024
購入数	14,928	14,640	14,640	14,640	14,640
廃棄数	0	0	0	-1,728	-4,176
配備数(購入後)	20,832	35,472	50,112	63,024	73,488
過不足(配備数-目標数)	-52,629	-37,989	-23,349	-10,437	27

飲料水(500ml) 目標数：63,646 本	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	67,296	35,678	39,288	47,458	55,476
購入数	8,166	8,170	8,170	8,170	8,170
廃棄数	-39,784	-4,560	0	-152	0
配備数(購入後)	35,678	39,288	47,458	55,476	63,646
過不足(配備数-目標数)	-27,968	-24,358	-16,188	-8,170	0

(2) 生活必需品

毛布 目標数：11,004 枚	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	4,687	5,964	7,224	8,484	9,744
購入数	1,277	1,260	1,260	1,260	1,260
配備数(購入後)	5,964	7,224	8,484	9,744	11,004
過不足(配備数-目標数)	-5,040	-3,780	-2,520	-1,260	0

防寒シート 目標数：20,819 枚	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	52	4,219	8,369	12,519	16,669
購入数	4,167	4,150	4,150	4,150	4,150
配備数(購入後)	4,219	8,369	12,519	16,669	20,819
過不足(配備数-目標数)	-16,600	-12,450	-8,300	-4,150	0

避難者用マット 目標数：560枚	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	224	300	365	430	495
購入数	76	65	65	65	65
配備数(購入後)	300	365	430	495	560
過不足(配備数－目標数)	-260	-195	-130	-65	0

サージカルマスク 目標数：31,823枚	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	1,000	7,163	13,328	19,493	25,658
購入数	6,163	6,165	6,165	6,165	6,165
配備数(購入後)	7,163	13,328	19,493	25,658	31,823
過不足(配備数－目標数)	-24,660	-18,495	-12,330	-6,165	0

簡易トイレ(水洗・非水洗) 目標数：526基	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	561	561	561	561	561
購入数	0	0	0	0	0
配備数(購入後)	561	561	561	561	561
過不足(配備数－目標数)	35	35	35	35	35

簡易トイレ用詰め替え袋 目標数：52,580袋	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	49,000	49,720	50,435	51,150	51,865
購入数	720	715	715	715	715
配備数(購入後)	49,720	50,435	51,150	51,865	52,580
過不足(配備数－目標数)	-2,860	-2,145	-1,430	-715	0

トイレトペーパー(60m/個) 目標数：1,468個	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	0	288	583	878	1,173
購入数	288	295	295	295	295
配備数(購入後)	288	583	878	1,173	1,468
過不足(配備数－目標数)	-1,180	-885	-590	-295	0

携帯トイレ 目標数：20,819 個	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	0	4,179	8,339	12,499	16,659
購入数	4,179	4,160	4,160	4,160	4,160
配備数(購入後)	4,179	8,339	12,499	16,659	20,819
過不足(配備数－目標数)	-16,640	-12,480	-8,320	-4,160	0

歯ブラシセット 目標数：11,004 組	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	7,956	8,604	9,204	9,804	10,404
購入数	648	600	600	600	600
配備数(購入後)	8,604	9,204	9,804	10,404	11,004
過不足(配備数－目標数)	-2,400	-1,800	-1,200	-600	0

タオル 目標数：11,004 枚	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	5,800	6,844	7,884	8,924	9,964
購入数	1,044	1,040	1,040	1,040	1,040
配備数(購入後)	6,844	7,884	8,924	9,964	11,004
過不足(配備数－目標数)	-4,160	-3,120	-2,080	-1,040	0

紙おむつ(乳幼児用) 目標数：2,800 枚	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	14,336	14,336	14,336	14,336	14,336
購入数	0	0	0	0	0
配備数(購入後)	14,336	14,336	14,336	14,336	14,336
過不足(配備数－目標数)	11,536	11,536	11,536	11,536	11,536

紙おむつ(大人用) 目標数：840 枚	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	3,072	3,072	3,072	3,072	3,072
購入数	0	0	0	0	0
配備数(購入後)	3,072	3,072	3,072	3,072	3,072
過不足(配備数－目標数)	2,232	2,232	2,232	2,232	2,232

おしりふきナップ幼児用 目標数：350箱	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	280	294	308	322	336
購入数	14	14	14	14	14
配備数(購入後)	294	308	322	336	350
過不足(配備数－目標数)	-56	-42	-28	-14	0

生理用品 目標数：5,808枚	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	50,954	50,954	50,954	50,954	50,954
購入数	0	0	0	0	0
配備数(購入後)	50,954	50,954	50,954	50,954	50,954
過不足(配備数－目標数)	45,146	45,146	45,146	45,146	45,146

使い捨て哺乳瓶 目標数：420本	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
購入数	0	0	0	0	0
配備数(購入後)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
過不足(配備数－目標数)	1,580	1,580	1,580	1,580	1,580

(3) 資機材

屋根付き間仕切り 目標数：56張	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	24	32	38	44	50
購入数	8	6	6	6	6
配備数(購入後)	32	38	44	50	56
過不足(配備数－目標数)	-24	-18	-12	-6	0

屋根なし間仕切り 目標数：560張	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	372	408	446	484	522
購入数	36	38	38	38	38
配備数(購入後)	408	446	484	522	560
過不足(配備数－目標数)	-152	-114	-76	-38	0

ブルーシート 目標数：2,240枚	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	260	640	1,040	1,440	1,840
購入数	380	400	400	400	400
配備数(購入後)	640	1,040	1,440	1,840	2,240
過不足(配備数-目標数)	-1,600	-1,200	-800	-400	0

エアマット 目標数：140台	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	0	28	56	84	112
購入数	28	28	28	28	28
配備数(購入後)	28	56	84	112	140
過不足(配備数-目標数)	-112	-84	-56	-28	0

トイレ用テント 目標数：526張	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	68	166	256	346	436
購入数	98	90	90	90	90
配備数(購入後)	166	256	346	436	526
過不足(配備数-目標数)	-360	-270	-180	-90	0

発電機 目標数：56台	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	70	70	70	70	70
購入数	0	0	0	0	0
配備数(購入後)	70	70	70	70	70
過不足(配備数-目標数)	14	14	14	14	14

バルーン型照明器 目標数：56台	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	22	28	35	42	49
購入数	6	7	7	7	7
配備数(購入後)	28	35	42	49	56
過不足(配備数-目標数)	-28	-21	-14	-7	0

ガソリン携行缶 (20L) 目標数 : 56 缶	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	1	12	23	34	45
購入数	11	11	11	11	11
配備数(購入後)	12	23	34	45	56
過不足(配備数－目標数)	-44	-33	-22	-11	0

ラジオ 目標数 : 56 台	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	0	12	23	34	45
購入数	12	11	11	11	11
配備数(購入後)	12	23	34	45	56
過不足(配備数－目標数)	-44	-33	-22	-11	0

コードリール 目標数 : 56 台	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	1	12	23	34	45
購入数	11	11	11	11	11
配備数(購入後)	12	23	34	45	56
過不足(配備数－目標数)	-44	-33	-22	-11	0

暖房機 目標数 : 112 台	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	33	48	64	80	96
購入数	15	16	16	16	16
配備数(購入後)	48	64	80	96	112
過不足(配備数－目標数)	-64	-48	-32	-16	0

扇風機 目標数 : 56 台	配備年度				
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
配備数(購入前)	39	43	47	50	53
購入数	4	4	3	3	3
配備数(購入後)	43	47	50	53	56
過不足(配備数－目標数)	-13	-9	-6	-3	0

カセットコンロ 目標数：56台	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	6	16	26	36	46
購入数	10	10	10	10	10
配備数(購入後)	16	26	36	46	56
過不足(配備数-目標数)	-40	-30	-20	-10	0

カセットガスボンベ 目標数：168本	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	18	48	78	108	138
購入数	30	30	30	30	30
配備数(購入後)	48	78	108	138	168
過不足(配備数-目標数)	-120	-90	-60	-30	0

やかん 目標数：56個	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	0	12	23	34	45
購入数	12	11	11	11	11
配備数(購入後)	12	23	34	45	56
過不足(配備数-目標数)	-44	-33	-22	-11	0

MCA無線機 目標数：56基	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	99	99	99	99	99
購入数	0	0	0	0	0
配備数(購入後)	99	99	99	99	99
過不足(配備数-目標数)	43	43	43	43	43

トランジスタメガホン 目標数：56台	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	0	12	23	34	45
購入数	12	11	11	11	11
配備数(購入後)	12	23	34	45	56
過不足(配備数-目標数)	-44	-33	-22	-11	0

台車 目標数：56台	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	0	12	23	34	45
購入数	12	11	11	11	11
配備数(購入後)	12	23	34	45	56
過不足(配備数-目標数)	-44	-33	-22	-11	0

ロープ(ハサミとセット) 目標数：168巻	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	0	28	63	98	133
購入数	28	35	35	35	35
配備数(購入後)	28	63	98	133	168
過不足(配備数-目標数)	-140	-105	-70	-35	0

ゴミ袋 目標数：5,600枚	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	0	1,120	2,240	3,360	4,480
購入数	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120
配備数(購入後)	1,120	2,240	3,360	4,480	5,600
過不足(配備数-目標数)	-4,480	-3,360	-2,240	-1,120	0

(4) 医薬品

医薬品等 目標数：56組	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	0	12	23	34	45
購入数	12	11	11	11	11
配備数(購入後)	12	23	34	45	56
過不足(配備数-目標数)	-44	-33	-22	-11	0

衛生用品、その他 目標数：56組	配備年度				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
配備数(購入前)	0	12	23	34	45
購入数	12	11	11	11	11
配備数(購入後)	12	23	34	45	56
過不足(配備数-目標数)	-44	-33	-22	-11	0

資料3 公的備蓄品目標数の算出式

●目標数量算出に用いた人口割合の算出式

	年齢等区分	人口数	算出式
小山市人口 167,466人	3歳～69歳	134,229人	$134,229人 \div 167,466人 \approx 80.15\%$
	1歳、2歳及び70歳以上	31,973人	$31,973人 \div 167,466人 \approx 19.09\%$
	0歳	1,264人	$1,264人 \div 167,466人 \approx 0.76\%$
	0歳～3歳	5,316人	$5,316人 \div 167,466人 \approx 3.17\%$
	10歳～55歳以下の女性	44,143人	$44,143人 \div 167,466人 \approx 26.36\%$
	災害時要支援者（要介護3以上）	2,118人	$2,118人 \div 167,466人 \approx 1.26\%$

※ 小山市年齢別人口統計(2019年8月1日現在)に基づき算定

※ 割合は、小数点第2位まで表示しているが、目標数の算定の際は、実際の値を適用

※ 人口割合を用いて目標数の算出の際には、公的備蓄物資支給対象者から人口割合を乗じたものの小数点以下を繰り上げ、対象者の人数を算定してから対象あたりの数量を乗じる

(1)食料・飲料水

No.	品目	対象区分	年齢等区分	算出式
1	アルファ米※1 (おにぎり型)	避難所避難者	3歳～69歳	$11,004人 \times 80.15\% \times 2食 \times 2袋 \approx 35,284袋$
2	アルファ米※2 (お粥)	避難所避難者	1歳、2歳及び70歳以上	$11,004人 \times 19.09\% \times 2食 \times 1袋 \approx 4,202袋$
3	粉ミルク※3 (アレルギー対応)	避難所避難者	0歳	56施設×1缶 = 56缶 参考(11,004人×0.76%×4食×27/800g ≈ 12缶)※1
4	液体ミルク	避難所避難者	0歳	$11,004人 \times 0.76\% \times 1食 \times 1缶 \approx 84缶$
5	簡易食料※4 (ライスクッキー)	避難所避難者	全員	$11,004人 \times 100\% \times 1食 \times 1袋 = 11,004袋$
		帰宅困難者	全員	$20,819人 \times 100\% \times 3食 \times 1袋 = 62,457袋$
6	飲料水(500ml)	避難所避難者	全員	$11,004人 \times 100\% \times 2本 = 22,008本$
		帰宅困難者	全員	$20,819人 \times 100\% \times 2本 = 41,638本$

※1 アルファ米(おにぎり型) 注水後の出来上がり量 1人1食当たり220g程度(おにぎり2個)とし、1食当たり2袋とする

※2 アルファ米(白粥) 注水後の出来上がり量 1人1食当たり245g程度(茶碗1杯分)とし、1食当たり1袋とする

※3 粉ミルク(アレルギー対応) 1食200mlの調乳量27gとし、1日4食として算定した場合、対象84人の備蓄目標が約12缶(1缶あたり800g)となり、指定避難所の総数を下回る為、指定避難所毎に1缶ずつ備蓄するものとする

※4 簡易食料(ライスクッキー) 1人1食当たり48g(1袋)とする

(2) 生活必需品

No.	品目	対象区分	年齢等区分	算出式
1	毛布	避難所避難者	全員	$11,004 \text{ 人} \times 100\% \times 1 \text{ 枚} = 11,004 \text{ 枚}$
2	防寒シート	帰宅困難者	全員	$20,819 \text{ 人} \times 100\% \times 1 \text{ 枚} = 20,819 \text{ 枚}$
3	避難者用マット	避難所	-	$56 \text{ 施設} \times 10 \text{ 枚} = 560 \text{ 枚}$
4	サージカルマスク	避難所避難者	全員	$11,004 \text{ 人} \times 100\% \times 1 \text{ 枚} = 11,004 \text{ 枚}$
		帰宅困難者	全員	$20,819 \text{ 人} \times 100\% \times 1 \text{ 枚} = 20,819 \text{ 枚}$
5	簡易トイレ (水洗・非水洗)	避難所避難者	全員(一部除く)	$11,004 \text{ 人} \times (100\% - 3.17\% - 1.26\%) \times 0.05 \text{ 基}$ $\approx 526 \text{ 基}^{\ast 1}$
6	簡易トイレ用 詰め替え袋	避難所避難者	全員(一部除く)	$11,004 \text{ 人} \times (100\% - 3.17\% - 1.26\%) \times 5 \text{ 袋}$ $\approx 52,580 \text{ 袋}^{\ast 1}$
7	トイレトーパー (60m/個)	避難所避難者	全員	$11,004 \text{ 人} \times 100\% \times 8\text{m} \div 60 \text{ 個} \approx 1,468 \text{ 個}$
8	携帯トイレ	帰宅困難者	全員	$20,819 \text{ 人} \times 100\% \times 1 \text{ 個} = 20,819 \text{ 個}$
9	歯ブラシセット	避難所避難者	全員	$11,004 \text{ 人} \times 100\% \times 1 \text{ 組} = 11,004 \text{ 組}$
10	タオル	避難所避難者	全員	$11,004 \text{ 人} \times 100\% \times 1 \text{ 枚} = 11,004 \text{ 枚}$
11	紙おむつ(乳幼児用)	避難所避難者	0歳~3歳	$11,004 \text{ 人} \times 3.17\% \times 8 \text{ 枚} \approx 2,800 \text{ 枚}$
12	紙おむつ(大人用)	避難所避難者	災害時要支援者	$11,004 \text{ 人} \times 1.26\% \times 6 \text{ 枚} \approx 840 \text{ 枚}$
13	おしりふきナップ 幼児用(80枚/個)	避難所避難者	0歳~3歳	$11,004 \text{ 人} \times 3.17\% \times 1 \text{ 箱} \approx 350 \text{ 箱}$
14	生理用品	避難所避難者	10歳~55歳 以下の女性	$11,004 \text{ 人} \times 26.36\% \times 25\% \times 8 \text{ 枚} \approx 5,808 \text{ 枚}$
15	使い捨て哺乳瓶	避難所避難者	0歳	$11,004 \text{ 人} \times 0.76\% \times 5 \text{ 本} \approx 420 \text{ 本}$

※1 0歳~3歳及び災害時要支援者を除いた人数に対し、避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン(平成28年4月内閣府)より避難が長期化した場合の目安である避難者20人当たり1基、トイレの使用回数を1人1日5回とした

(3) 資機材

No.	品目	対象区分	年齢等区分	算出式
1	屋根付き間仕切り	避難所	-	56 施設 × 1 張 = 56 張
2	屋根なし間仕切り	避難所	-	56 施設 × 10 張 = 560 張
3	ブルーシート	避難所	-	56 施設 × 40 枚 = 2,240 枚
4	エアマット	避難所避難者	災害時要支援者	11,004 人 × 1.26% × 1 台 = 140 本
5	トイレ用テント	避難所避難者	全員(一部除く)	11,004 人 × (100% - 3.17% - 1.26%) × 0.05 張 = 526 張※1
6	発電機	避難所	-	56 施設 × 1 台 = 56 台
7	バルーン型照明器	避難所	-	56 施設 × 1 台 = 56 台
8	ガソリン携行缶(20ℓ)	避難所	-	56 施設 × 1 缶 = 56 缶
9	ラジオ	避難所	-	56 施設 × 1 台 = 56 台
10	コードリール	避難所	-	56 施設 × 1 台 = 56 台
11	暖房機	避難所	-	56 施設 × 2 台 = 112 台
12	扇風機	避難所	-	56 施設 × 1 台 = 56 台
13	カセットコンロ	避難所	-	56 施設 × 1 台 = 56 台
14	カセットガスボンベ	避難所	-	56 施設 × 3 本 = 168 本
15	やかん	避難所	-	56 施設 × 1 個 = 56 個
16	MCA無線機	避難所	-	56 施設 × 1 基 = 56 基
17	トランジスタメガホン	避難所	-	56 施設 × 1 台 = 56 台
18	台車	避難所	-	56 施設 × 1 台 = 56 台
19	ロープ(ハサミとセット)	避難所	-	56 施設 × 3 巻 = 168 巻
20	ゴミ袋	避難所	-	56 施設 × 100 袋 = 5,600 袋

※1 0歳～3歳及び災害時要支援者を除いた人数に対し、避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン(平成28年4月内閣府)より避難が長期化した場合の目安である避難者20人当たり1基に対してのテントの数とした

資料4 避難所等への公的備蓄物資数量の振分け

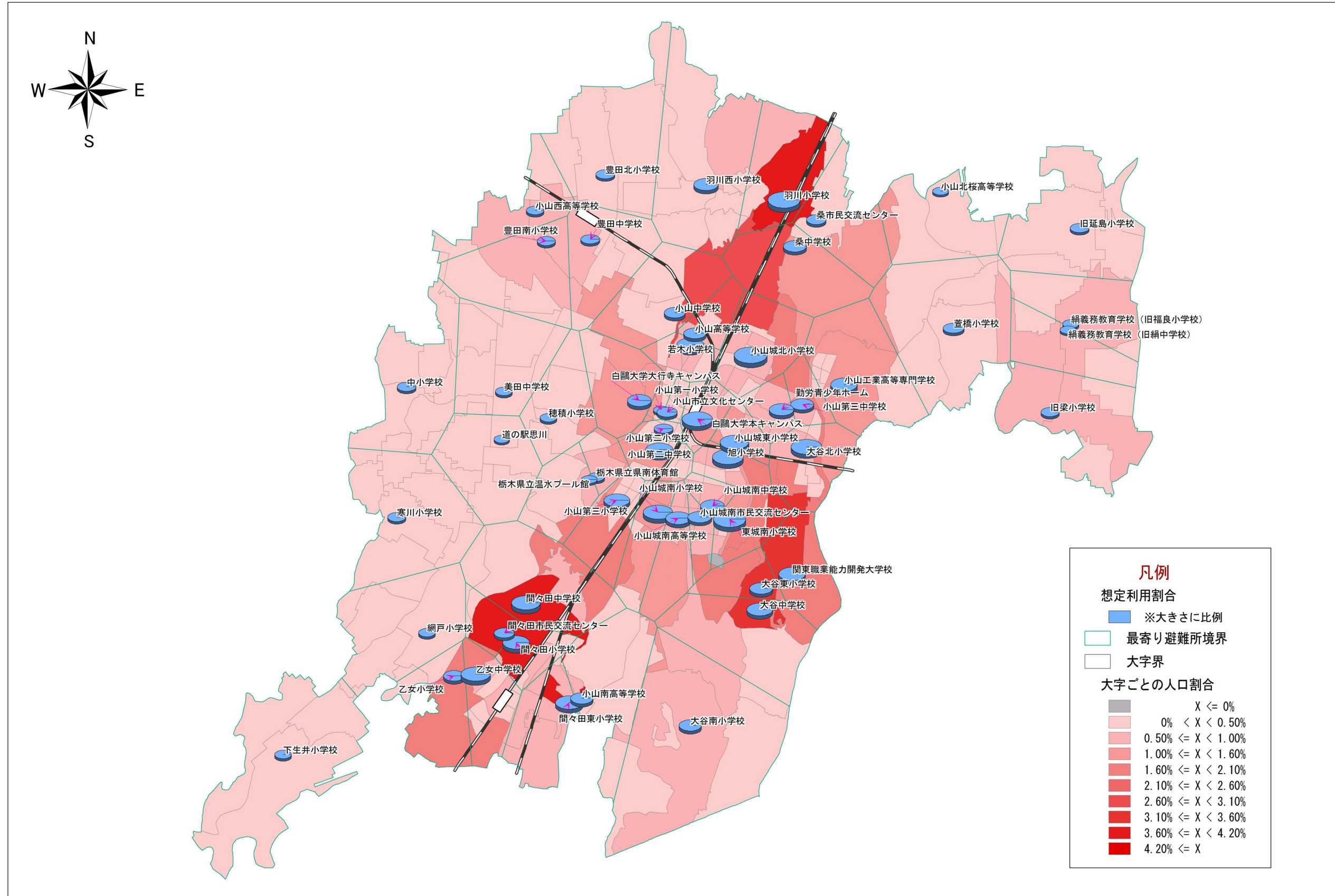
避難所ごとの避難所避難者や帰宅困難者の人数は、その立地により利用率が大きく異なることが予測される。避難所避難者が避難所を利用する場合、最寄りの避難所に避難する住民が多いと予測されるため、大字ごとの世帯人口統計と最寄りの避難所を考慮し、備蓄物資数量の振分けを行う。一方、帰宅困難者はJR小山駅やJR間々田駅、JR思川駅周辺に多く滞留していると想定される為、駅周辺の公共交通機関との協定締結も視野に入れ、公的備蓄物資の配備を進めていく。

①避難所ごとに想定される避難所避難者割合及び人数

No.	名称	避難所避難者		施設想定 収容人数
		割合(%)	人数(人)	
1	小山第一小学校	0.39	42	319人
2	小山第二小学校	0.82	91	295人
3	小山第三小学校	2.41	265	303人
4	小山城南小学校	3.40	374	303人
5	旭小学校	3.88	427	303人
6	小山城北小学校	4.67	513	302人
7	若木小学校	2.59	285	235人
8	東城南小学校	4.48	493	422人
9	小山城東小学校	3.23	356	368人
10	大谷東小学校	1.60	176	303人
11	大谷南小学校	1.59	175	377人
12	大谷北小学校	3.87	426	303人
13	間々田小学校	2.68	295	324人
14	乙女小学校	1.26	139	303人
15	間々田東小学校	2.88	317	329人
16	下生井小学校	0.51	56	265人
17	網戸小学校	0.55	60	266人
18	寒川小学校	0.78	86	199人
19	豊田南小学校	0.70	77	248人
20	豊田北小学校	0.88	96	248人
21	穂積小学校	0.55	60	362人
22	中小学校	0.81	89	292人
23	羽川小学校	4.52	497	298人
24	羽川西小学校	2.00	220	349人
25	萱橋小学校	1.18	129	199人
26	絹義務教育学校(旧福良小学校)	0.50	55	248人

No.	名称	避難所避難者		施設想定 収容人数
		割合(%)	人数(人)	
27	旧梁小学校	0.77	85	377人
28	旧延島小学校	0.83	91	300人
29	小山中学校	1.27	140	443人
30	小山第二中学校	2.75	303	350人
31	小山第三中学校	1.65	182	445人
32	小山城南中学校	1.87	206	412人
33	大谷中学校	2.33	257	446人
34	間々田中学校	3.30	363	358人
35	乙女中学校	3.40	374	362人
36	豊田中学校	0.90	99	437人
37	美田中学校	0.53	58	455人
38	桑中学校	1.71	189	446人
39	絹義務教育学校（旧絹中学校）	0.42	46	331人
40	小山高等学校	1.46	161	877人
41	小山西高等学校	0.64	71	1,709人
42	小山城南高等学校	2.28	251	1,096人
43	小山南高等学校	1.53	169	1,428人
44	小山北桜高等学校	0.45	50	638人
45	勤労青少年ホーム	2.09	230	415人
46	白鷗大学大行寺キャンパス	1.88	207	738人
47	白鷗大学本キャンパス	3.64	400	320人
48	小山工業高等専門学校	2.61	287	553人
49	関東職業能力開発大学校	2.64	290	391人
50	小山市立文化センター	1.09	120	201人
51	栃木県立県南体育館	0.51	56	1898人
52	栃木県立温水プール館	0.46	51	84人
53	道の駅思川	0.39	43	129人
54	間々田市民交流センター	1.08	119	311人
55	小山城南市民交流センター	1.84	202	269人
56	桑市民交流センター	0.95	105	313人
施設想定収容人数			計	24,295人

②大字ごとの人口割合と避難所避難者の利用割合想定図



第2次備蓄推進5箇年計画

令和2年3月

小山市消防本部 危機管理課